

万博記念公園春の渡り鳥調査結果 (2020年度)

大阪府日本万国博覧会記念公園事務所

製作:吹田野鳥の会

調査期間 2020 年 4 月 15 日～5 月 5 日

調査目的 渡り鳥が好む環境を知り、鳥が利用する環境を創生するための
植生管理の基礎とする

調査対象 ①ヒタキの仲間(ヒタキ科・ムシクイ科・ウグイス科の鳥)
②スズメ科ニュウナイスズメなどの山野の鳥
③コチドリなど水辺の鳥

調査方法 園内を一巡し、渡り鳥を観察した数および場所を地図上にプロット
備 考 鳥類目録 7 版に準拠

1. 春の渡り鳥全般の状況

1) 観察した種類と個体数

- ・2020 年の渡り鳥の観察種数は 17 種と 19 年に比べ 1 種増であった。種数は 2015 年の 11 種以来増加傾向であり、今年は過去最高 2006 年の 18 種に近い観察種数であった。
 - ・個体数は 19 年に比べ 377 羽増加し 934 羽であった。これは調査した 18 年間で上位 5 番目の多さであった。
 - ・そして大きく変動するマミチャジナイ、ニューナイスズメの 2 種を除くと、332 羽であり過去 18 年間で最高の観察数であった。
 - ・チドリ科では今年もコチドリ 8 羽を観察出来た。
 - ・シギ科では万博記念公園では初観察記録となるセイタカシギと 10 年ぶりのタシギを観察できた。
 - ・ムシクイ科ではエゾムシクイ、センダイムシクイを観察したがメボソムシクイは観察できなかった。
 - ・ヒタキ科ツグミ属ではクロツグミ、マミチャジナイ、アカハラを観察した。
 - ・昨年に過去最高の 142 羽を数えたキビタキは今年 79 羽にとどまった。
一方オオルリは今年も二桁の 20 羽を観察できた。
 - ・ニューナイスズメは 601 羽と久々に 500 羽を超える観察数だった。
 - ・なお、サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、キツツキ科、カササギビタキ科、ウグイス科、ムクドリ科の渡り鳥は観察できなかった。
- (P3 表 1 参照。なお本年観察した鳥の日別推移は P14～P16 の別表1を参照)

図 1

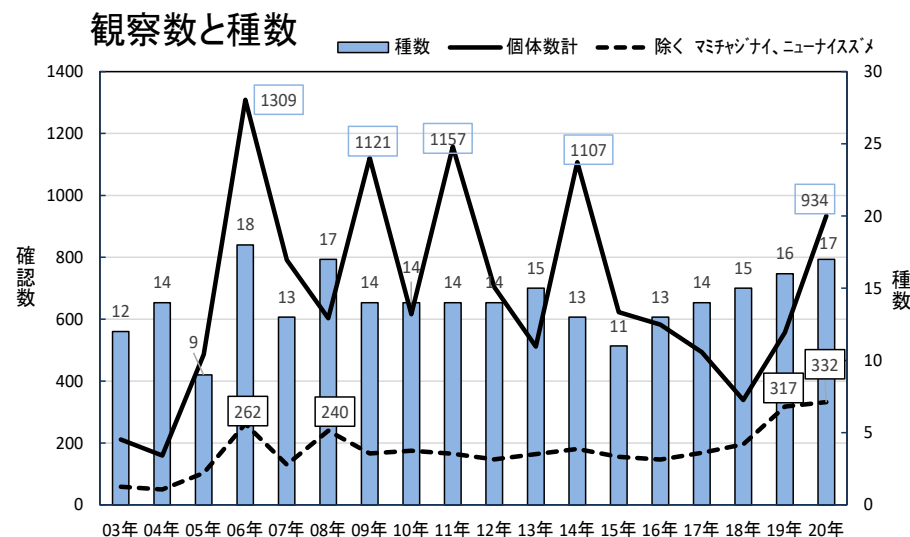


表 1

2020年 万博記念公園 春の渡り鳥調査時に観察した主な渡り鳥リスト

科名	種名	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	前年比
チドリ	コチドリ		5	26	6	1	5	9	7	11	1	4	1	3	16	1	1	2	8	+6
シギ	セイタカシギ																		4	+4
	タシギ					1			1										5	+5
サンショウクイ	サンショウクイ						2	1		8		1		2	5	1	2	13	18	+5
ウグイス	ヤブサメ	2				1		4												
ムシクイ	メボソムシクイ	2	1		2				2	1							1	1		▲1
	エゾムシクイ	2	4	11	2	7	5	7	2	1	7	6	12	2	8	8	9	17	14	▲3
	センダイムシクイ	7	13	25	14	38	25	22	28	24	31	29	21	22	27	24	25	46	48	+2
ヨシキリ	オオヨシキリ	1			1		1			2	2	1	1			2	1	2	5	+3
レンジャク	ヒレンジャク				90	6							7						23	+23
ムクドリ	コムクドリ						1	1				4					1	1		▲1
ヒタキ	クロツグミ	2	2		1		5	2	2	4		1	1					11	2	▲9
	マミチャジナイ				282		2	5		1	40				1	1		6	1	▲5
	アカハラ	3	5	7	76	29	98	69	57	58	36	11	19	8	10	27	32	50	93	+43
	コマドリ	2	1						1				2		2		2	7		▲7
	コルリ		1				2					1						2		▲2
	ノビタキ				5	2	3		3	1	3								2	+2
	コサメビタキ		1	1	4	6	4	1	10	5	7	4	6	1	6	8	4	8	8	±0
	キビタキ	11	4	13	20	14	54	25	44	32	51	82	85	85	65	86	107	142	79	▲63
	オオルリ	25	9	19	34	24	31	24	17	18	6	17	25	26	5	7	7	15	20	+5
スズメ	ニューナイスズメ	152	109	383	765	661	361	950	441	991	517	347	926	468	436	324	144	234	601	+367
ホオジロ	ノジコ					1													3	+3
	クロジ	2	3											5			2			
種数		12	14	9	18	13	17	14	14	14	14	15	13	11	13	14	15	16	17	+1
個体数計		211	159	486	1309	791	603	1121	616	1157	704	511	1107	623	583	493	339	557	934	+377
除く マミチャジナイ、ニューナイスズメ		59	50	103	262	130	240	166	175	165	147	164	181	155	146	168	195	317	332	+15

2. ヒタキの仲間の状況

1) ヒタキの仲間の観察数

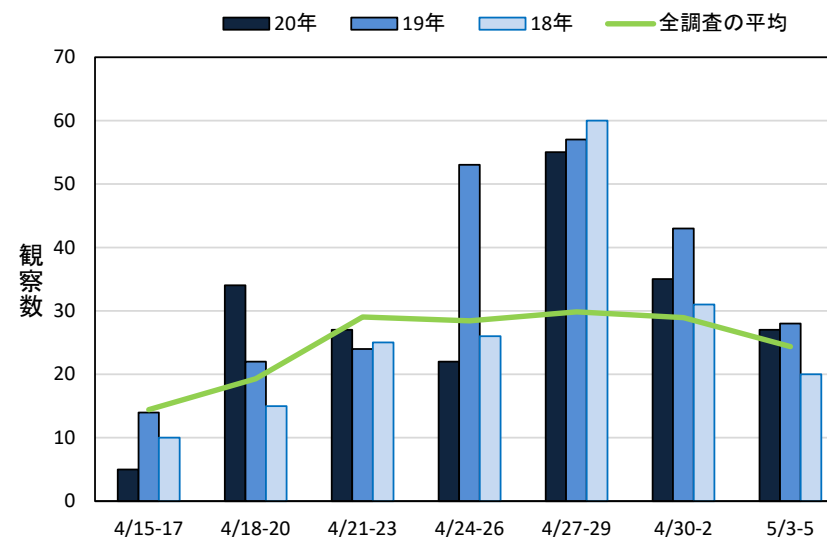
- ・ヒタキの仲間(ヒタキ科、ムシクイ科、ウグイス科、ヨシキリ科)の3日単位での観察数を18年間の平均および最近の3年と比べた。
- ・図2は調査期間21日間の3日ごとの観察数を示す。
- ・例年は4/23頃に渡りのピークを迎え、その後も一定数の観察があり連休明け後に終盤となる。
- ・今年は調査開始時より20日ごろに一度ピークを迎え、その後やや減少傾向になったが4/27-29に急増し、調査終了の5/5まで平均を上回る観察数であった。
- ・ちなみに昨年は調査開始時より23日ごろまで観察数は増加傾向ながら平均的であったが4/24-26に急増し、調査終了の5/5まで今年以上に多くの観察数を記録していた。

(図2 参照)

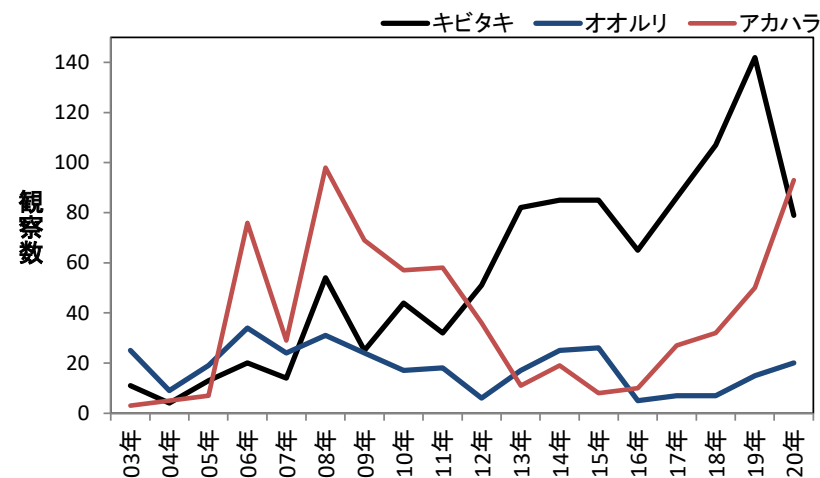
2) ヒタキ科キビタキ、オオルリ、アカハラの年別観察数

- ・キビタキはこの調査が始まって以来増加傾向であり、特に11年以降急増した。しかし今年は79羽と昨年の過去最高142羽からほぼ半減となった。
- ・オオルリは06年に34羽を観察して以来減少傾向であり、16年以降は一桁の観察数であった。昨年久々に二桁を観察でき今年も20羽を観察した。
- ・アカハラは08年に最大98羽を数えたが、翌年以降急激に減少し15年には8羽と最低を記録した。その後徐々に増加傾向を示し、今年は昨年からほぼ倍増の93羽と過去二番目の観察数となった。
- ・キビタキとアカハラの観察数の変化を今後も注視していきたい。(図3 参照)

ヒタキの仲間の日別(3日間)観察数 図2



ヒタキ3種の年別観察数 図3



3)ヒタキ科 キビタキの日別観察数

・20 年および 19 年の日別観察数とその移動平均を図 4 に示す。

・キビタキを調査初日に観察したが以降は 4/23 頃まで低調であった。その後は増加し 5/1 のピークを過ぎて減少したが 5/5 の調査最終日まで観察ができた。
今年の観察数は 79 羽であった。

・過去最高を記録した去年は調査初日より観察数が順調に増加し、4/26 にピークを迎えた後も 5/3 まで連日二桁近く観察できた。

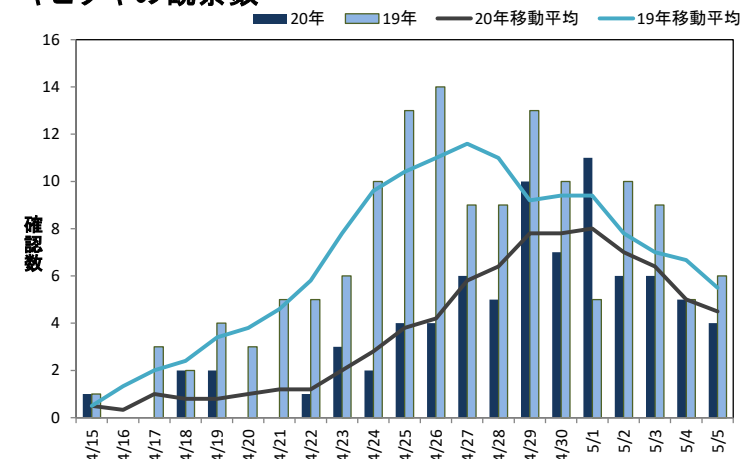
・今年は昨年に比べて渡りのピークは遅かったようである。(図 4 参照)



写真 1 キビタキ 5月5日 モミジ滝東

図 4

キビタキの観察数



4)ヒタキ科 オオルリの日別観察数

・今年オオルリは昨年に続き二桁の 20 羽を観察できた。

・観察数が少ないが、渡りのピークは 4/19～22 頃であった様である。

(図 5 参照)



写真 2 オオルリ 4月22日 学習の森

図 5

オオルリの日別(3日間)観察数

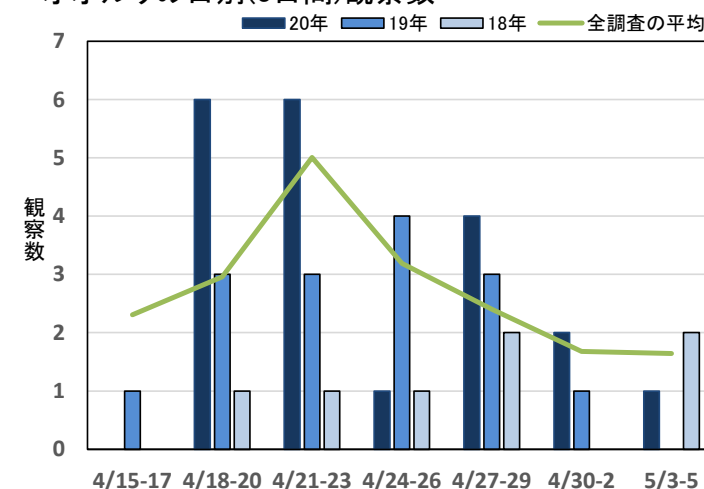


図 6

5)ヒタキ科アカハラ、マミチャジナイ、クロツグミ

- ・アカハラは昨年より 43 羽も多い 93 羽を観察した。2008 年の 98 羽に続く過去 2 番目の多さであった。特に今年は 1 箇所複数羽がまとまって観察されることが多かった。また観察場所も昨年に比べて園内各所に広がっていた。
- ・アカハラを今年は調査期間を通して観察できた。渡りの期間は例年よりは長かったようである。（図 6 参照）
- ・マミチャジナイは多数観察できた 2006 年の 282 羽、2012 年の 40 羽を除くと、観察数が極端に少ない渡り鳥である。今年はマミチャジナイを 1 羽しか観察できなかった。
- ・昨年 11 羽も観察できたクロツグミを今年は 2 羽しか観察できなかった。

アカハラの観察数

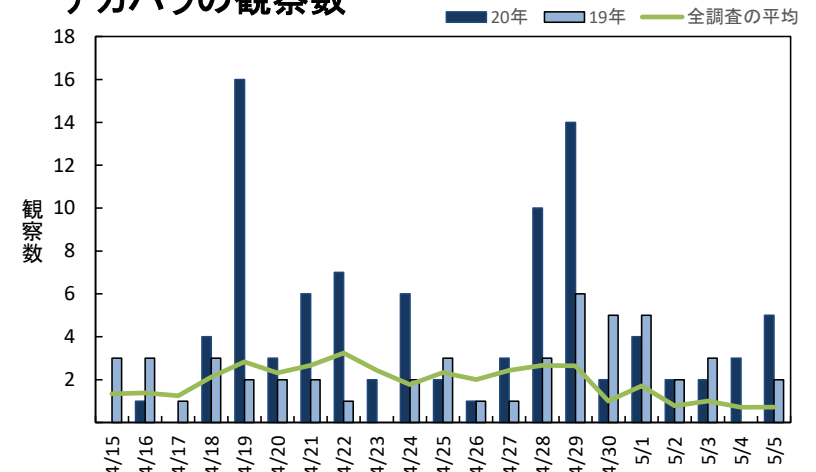


写真 3 アカハラ 4 月 28 日 万葉の里



写真 4 クロツグミ 4 月 28 日 万葉の里

6) その他のヒタキ科の渡り鳥

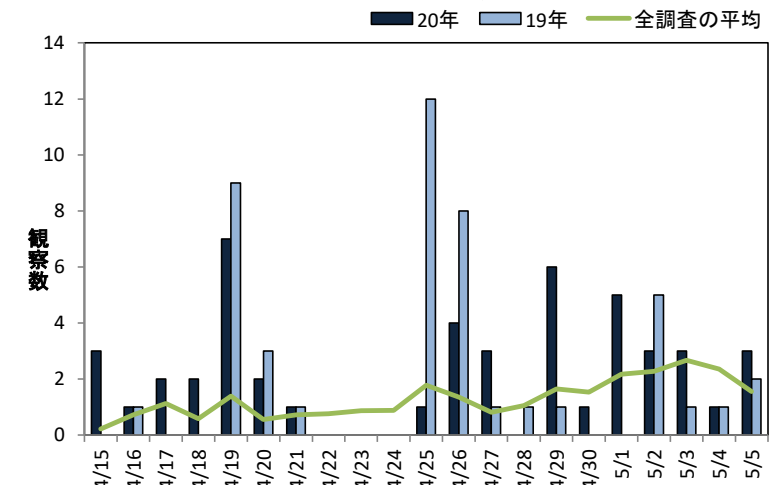
- ・ノビタキを 8 年ぶりに 2 羽観察できた。またコサメビタキは今年も昨年と同じ 8 羽を観察できた。

7) ムシクイ科センダイムシクイ、エゾムシクイ、メボソムシクイ

- ・センダイムシクイは 48 羽と昨年よりわずか 2 羽ながら過去最高を更新した。昨年は観察出来た日数が 13 日であったが、今年は 17 日と 4 日間も多く、ほぼ調査期間全体をととして観察出来た。調査最終日の 5/5 も 3 羽と観察は続いており、今年も渡りは連休後も継続していたようである。(図 7 参照)
- ・エゾムシクイも昨年 17 羽から 3 羽減少の 14 羽であったが過去 2 番目の多さであった。昨年は 4/23 から 5/2 までの期間で観察したが、今年は 4/26 から最終日の 5/5 まで観察できた。今年の渡りは連休後も続いていたようである。(図 8 参照)
- ・メボソムシクイは渡りの時期が遅い鳥の為に当調査期間中に観察する機会は少ない。今年は 1 羽も観察できなかった。
- ・ムシクイ科の 3 種の観察数を年別に見ると、センダイムシクイ、エゾムシクイの 2 種は増加傾向が続いていると見える。(図 9 参照)

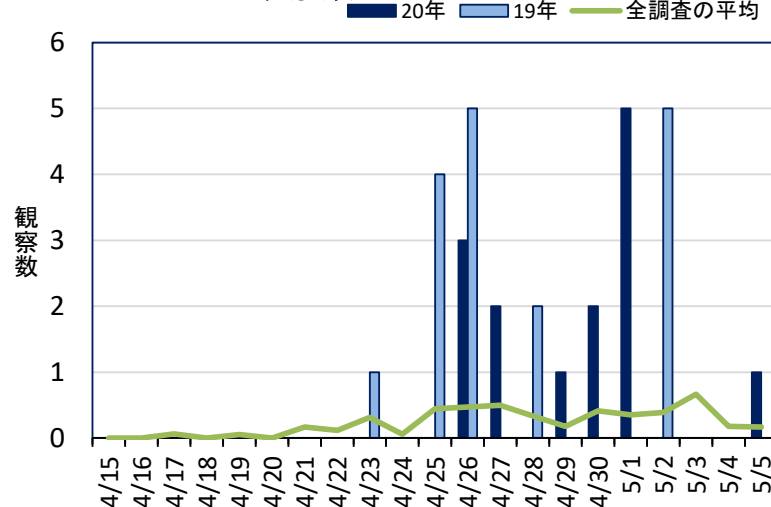
センダイムシクイの観察数

図 7



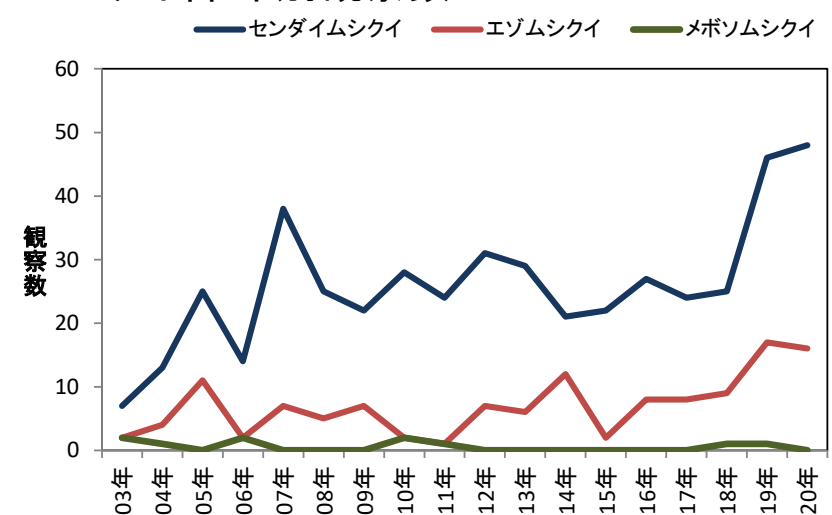
エゾムシクイの観察数

図 8



ムシクイ科 年別観察数

図 9



3. その他の渡り鳥

1) スズメ科 ニュウナイスズメ

- ・ニュウナイスズメは年によって大きく増減する。1,000 羽近くを観察した年もあれば、100 羽台しか観察できない年もある。15 年以降は減少傾向であり、ここ数年は 300 羽以下にとどまっていたが、今年は 601 羽と久々に 500 羽を超える観察ができた。(図 10 参照)
- ・ニュウナイスズメの渡りは例年 4 月中旬がピークで 5 月連休前には急に減少していく。また集団で観察されることが多く 1 日に 100 羽以上観察することもある。小集団が多かった昨年に比べて今年は 1 日に 130 羽や 90 羽と集団が大きかった。渡りのピークは 4/18 で 4/25 も観察できたが連休前には渡り終わったようである。(図 11 参照)



写真 4 ニュウナイスズメ 4 月 16 日 東の広場

図 10
ニュウナイスズメ年別観察数

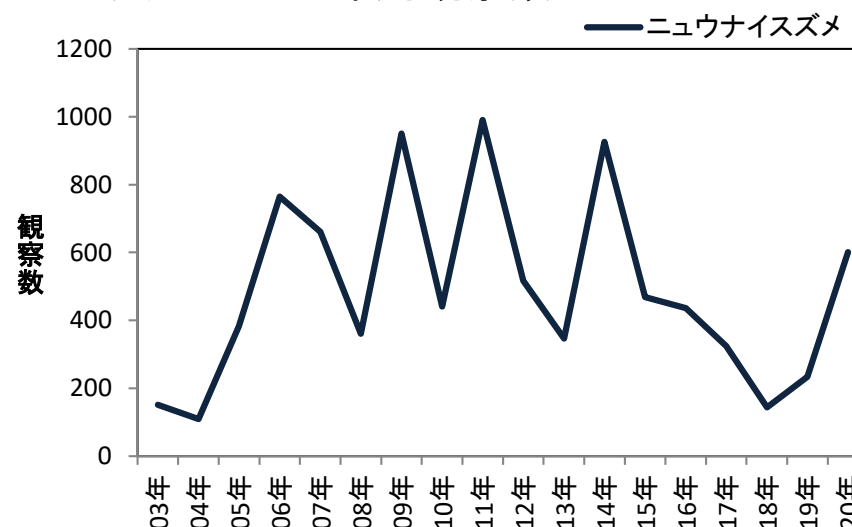
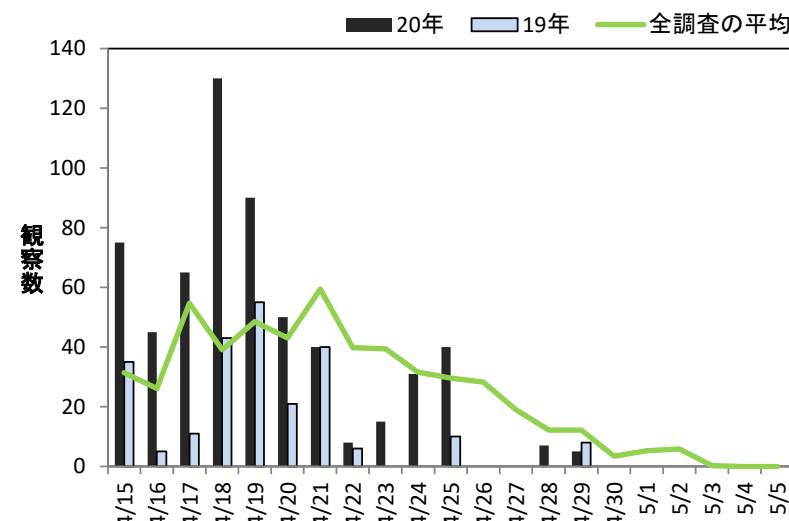


図 11
ニュウナイスズメの観察数



2) そのほかの渡り鳥

- ・チドリ科コチドリは今年も 8 羽観察できた。シギ科では万博記念公園では初観察記録となるセイタカシギと 10 年ぶりのタシギを観察できた。
- ・サンショウクイ科サンショウクイは過去最高の 18 羽を観察できた。レンジャク科ヒレンジャクを 6 年ぶり 23 羽観察できた。
- ・さらにホオジロ科のノジコを 2007 年以来 13 年ぶりに観察できた。
- ・サギ科、カッコウ科、アマツバメ科、キツツキ科、カササギビタキ科、ウグイス科、ムクドリ科の渡り鳥は観察できなかった。



写真5 セイタカシギ 4月18日 日本庭園はす池



写真6 タシギ 4月24日 水すましの池



写真7 サンショウクイ 4月27日 千里橋通り 水車小屋西



写真8 ノジコ 4月27日 ドングリ池 南西林

4. 冬鳥ほか

1) ヒタキ科ツグミ、シロハラ

- ・ツグミは図 12 のように 06 年カウント開始時点から年々減少していく傾向であった。特に 2018 年は 358 羽と 2010 年 1443 羽の 1/4 に減少していた。しかし今年は一転して 1499 羽と過去最高を記録した。また亜種のハチジョウツグミを 2015 年以来 5 年ぶりに観察した。
- ・一方シロハラは昨年は 324 羽とベスト 3 に入る観察数であったが、今年は 284 羽と若干ながら減少しツグミと逆の状況であった。
- ・大きく減少してきたツグミが今年急増した現象は万博記念公園だけなのか大阪近郊全体の傾向なのかは COVID-19 緊急事態宣言による外出自粛の為に各地の状況が不明で判断できなかった。(図 12 参照)



写真 9 ハチジョウツグミ 4 月 15 日 世界の森

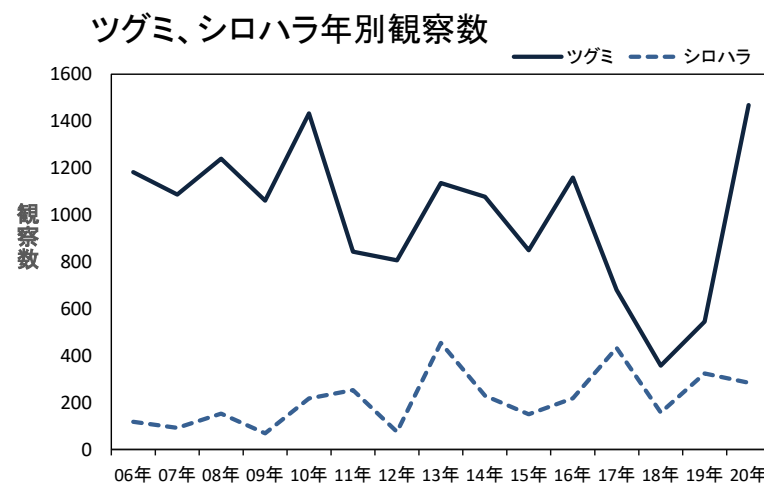


図 12

2) ツグミとシロハラの日別観察数

- ・ツグミの日別の観察数を見ると 4/25 頃までは毎日 100 羽を超える観察数であった。しかし 4/26 以降は急激に数を減らし、5 月に入るとほとんど姿を見せなくなった。例年どおりに渡去していったと思われる。
- ・一方シロハラは 10 羽以上観察した日は昨年 4/28 までであったが今年は 4/25 までであったが、渡去は例年通りであった。(図 13, 図 14 参照)

ツグミの観察数

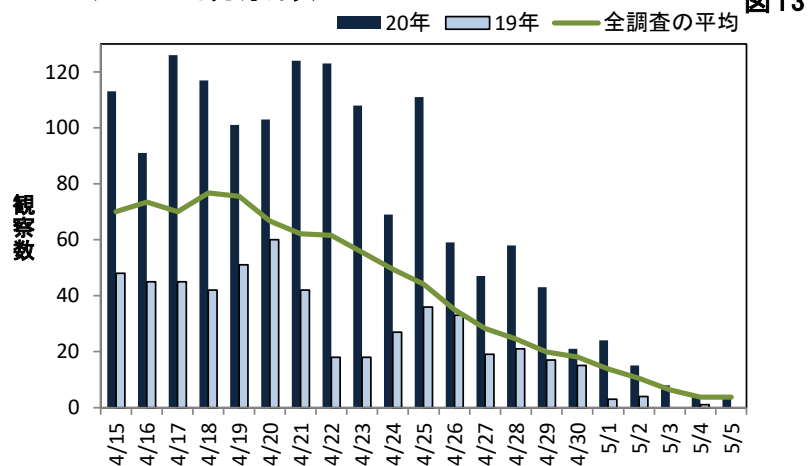


図 13

シロハラの観察数

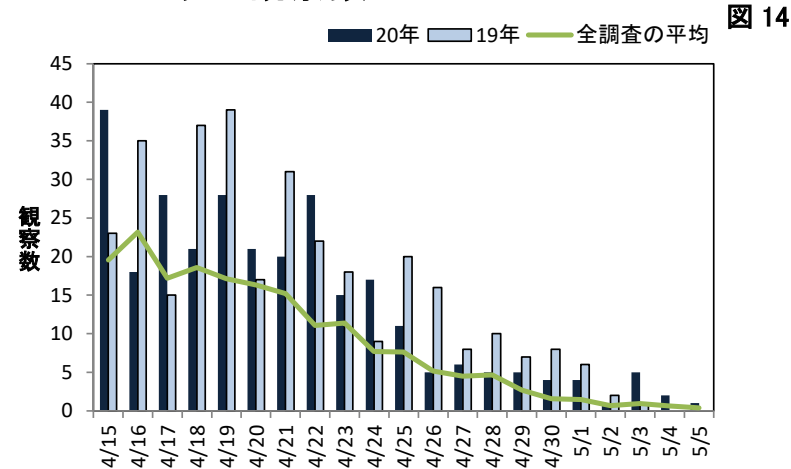


図 14

3) アトリ科アトリ、シメ、ホオジロ科ノジコ・アオジ、セキレイ科ビンズイ他

- ・アトリは年により大きく変動する。昨年は 20 羽と過去最少レベルであったが、今年は一転して 375 羽と 18 年に続く多さであった。(図 15 参照)
- ・シメも年により大きく変動する。今年は 204 羽と昨年の 226 羽に続く多さであった。
- ・アオジは毎年 40～80 羽程度観察できるが、今年は 124 羽とこの 10 年間で初めて 100 羽を超える観察数であった。
- ・昨年 5 羽を観察したビンズイを今年は 8 羽観察出来た。
- ・例年 4 月上旬には渡去してしまうジョウビタキを渡り鳥調査では初めて観察した。アトリやシメ、ジョウビタキなど今年は冬鳥を多く観察できた。

アトリ科の冬鳥年別観察数

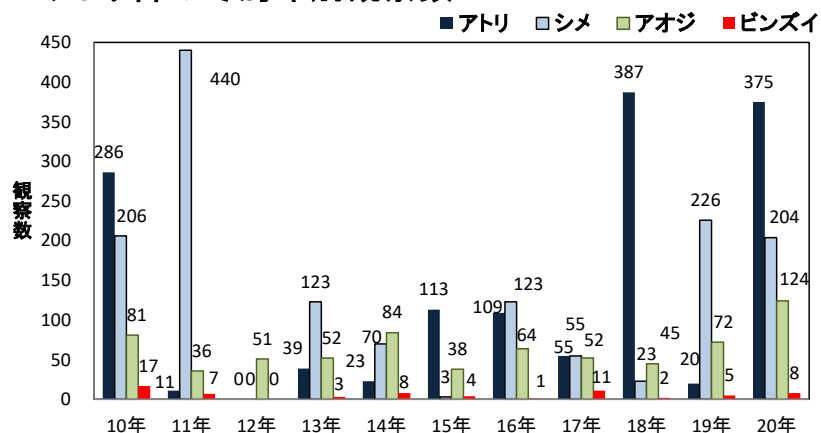


図 15



写真 10 ビンズイ 4 月 27 日 ドングリ池 南西林

5 トータル観察種(別表)

- ・調査期間中に観察したトータルの種数は過去最高の 63 種だった。
(図 16 参照)
- ・日別観察種数は平均 35.0 種(昨年度 31.7 種)であった。観察した全種の一覧表を別表 1 に示した。
- ・今年は日別観察種数が平均を下回った日は 1 日しかなく全体的に観察種数は好調であった。(図 17 参照)
- ・調査した 21 日間とも観察できた種は昨年より 3 種増えて 18 種であった。
全日観察できたのは、カルガモ、カイツブリ、キジバト、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、シロハラ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、シメ、イカルであった。
- ・昨年は全日観察できなくて今年できたのはウグイス、シロハラ、ツグミ、シメ、イカルであった。
- ・逆に昨年全日観察できて今年できなかったのはカワウ、ムクドリであった。
- ・今年の渡り鳥調査は種数、観察数とも昨年以上に好調であった。
昨年より観察種が 5 種も多かったのは、オシドリ、ゴイサギ、バン、セイタカシギ、タシギ、モズ、イワツバメ、ヒレンジャク、トラツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ノビタキ、ノジコが観察できた一方、ヒドリガモ、ミサゴ、ヒバリ、メボソムシクイ、コムクドリ、コマドリ、コルリ、ホオジロが観察できなかったことによる。

図 16

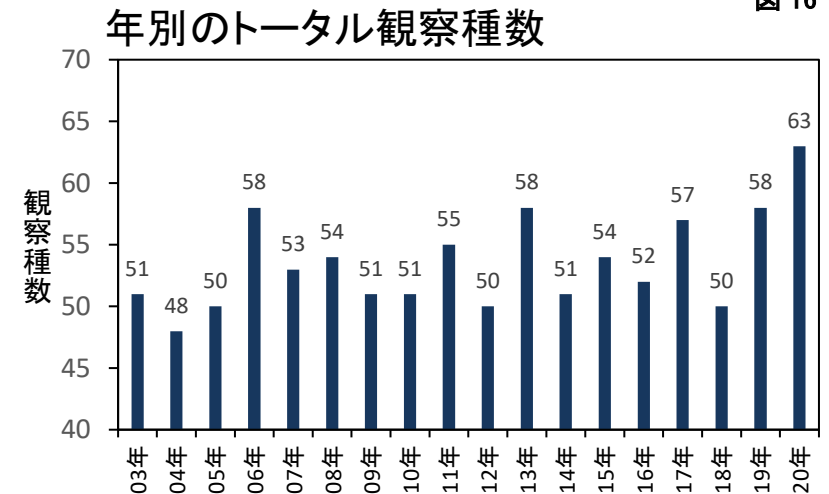
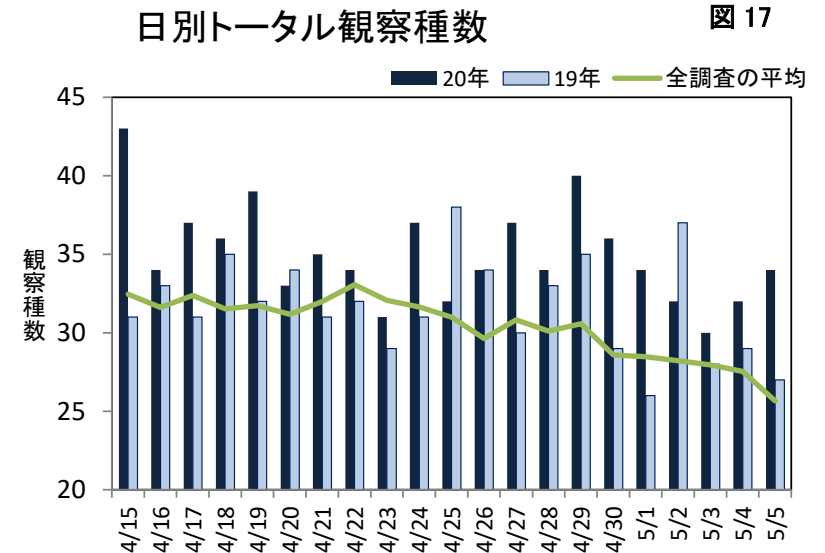


図 17



6. 渡り鳥の観察場所について(2020 年別図①～⑤、2019 年別図⑥～⑩)

渡り鳥を観察した場所を別図①～⑤に示した。

多くの数を観察できたキビタキ、オオルリ、センダイムシクイ、そしてニュウナイスズメなどを中心に渡り鳥の好む場所を記述してみる。

1. キビタキは自然文化園内の常緑樹林を中心に落葉樹林も利用しているのは昨年と同様である。今年は特に森の足湯の奥と上津道の間、ビオトープの西側から水草の池東側、観察の森から紅葉溪の間、ひょうたん池西側に多く見られた。しかし昨年まで多く観察ができていた野鳥の森から三角山・森の舞台の周辺、自然文化園北側にある小川と日本庭園竹林の間での観察は少数にとどまった。
オオルリは紅葉溪とビオトープで観察数が増加した一方、昨年に観察数が多かった野鳥の森・三角山で観察数が減少した。
(2020 年別図①、2019 年別図⑥)

2. アカハラは太陽の広場西側の林、茶つみの里西側の林、どんぐり池周辺、観察の森から紅葉溪の間、日本庭園茶室周辺、迎賓館南側で主に観察できた。昨年観察が多かった野鳥の森・三角山からひょうたん池では減少した。
(2020 年別図②、2019 年別図⑦)

3. センダイムシクイ、エゾムシクイの2種は、森の足湯の奥と上津道の間、ビオトープの西側から水草の池東側、野鳥の森からひょうたん池など、自然文化園内の常緑樹林で観察できた。(2020 年別図③、2019 年別図⑧)

4. ニュウナイスズメは上の広場、下の広場、梅林北側、日だまりの池、どんぐりの池、観察の森、日本庭園はす池の北と東にあるサクラ、ケヤキ、クヌギ、コナラを中心とする落葉樹林などで観察できた。(2020 年別図④、2019 年別図⑨)

以上

別表1

2020年 調査時に観察した鳥リスト(全種)

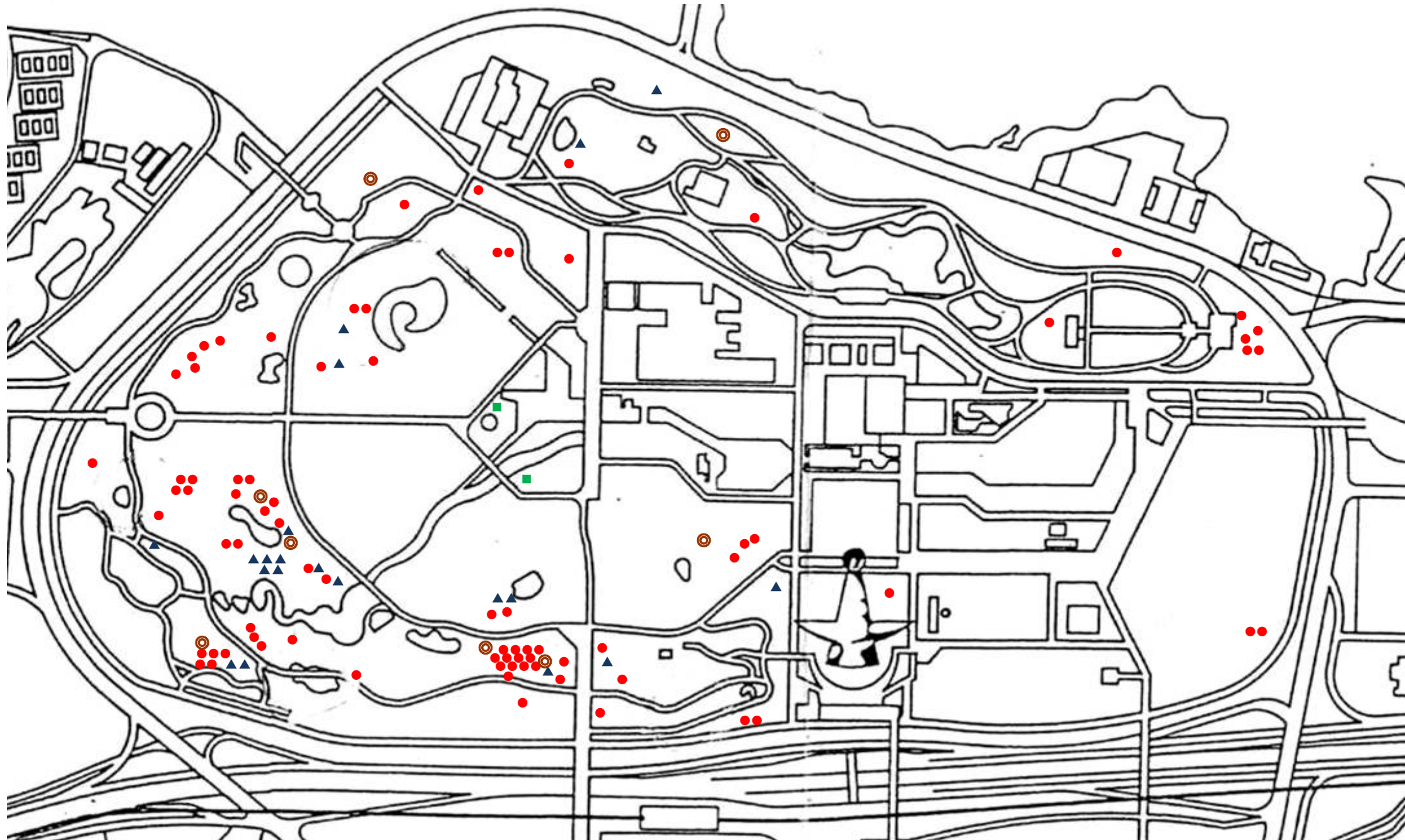
2020年調査時に観察された鳥類（全種）																												
目録 No.	No.	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	20年観 察日数	19年観 察日数	前年比 増減	
5	1	キジ	キジ																									
24	2	カモ	オシドリ											○											1		+1	
27	3	カモ	ヨシガモ																									
28	4	カモ	ヒドリガモ																							2	▲2	
30	5	カモ	マガモ	○	○	○		○		○		○	○	○									○	○	10	3	+7	
46	6	カモ	キンクロハジロ																									
32	7	カモ	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
62	8	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
74	9	ハト	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
78	10	ハト	アオバト	○			○			○	○						○	○					○	○	8	2	+6	
127	11	ウ	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20	21	▲1	
139	12	サギ	ゴイサギ	○		○		○	○																4		+4	
141	13	サギ	ササゴイ																									
144	14	サギ	アオサギ	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	19	18	+1	
146	15	サギ	ダイサギ			○																			1	5	▲4	
147	16	サギ	チュウサギ																									
148	17	サギ	コサギ	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	3	+16	
166	18	クイナ	クイナ																									
174	19	クイナ	バン			○		○																	2		+2	
185	20	カッコウ	ホトギス																									
187	21	カッコウ	ツツドリ																									
192	22	アマツバメ	アマツバメ																									
195	23	チドリ	ケリ																			○			1	2	▲1	
197	24	チドリ	ムナグロ																									
199	25	チドリ	ダイゼン																									
203	26	チドリ	コチドリ	3			1		1	1				1							1				6	1	+5	
210	27	シギ	セイタカシギ	1	1	1	1																		4		+4	
219	28	シギ	タシギ	2	1					1			1												4		+4	
227	29	シギ	チュウシャクシギ																									
239	30	シギ	クサシギ																									
286	31	カモメ	ユリカモメ																									
339	32	ミサゴ	ミサゴ																							1	▲1	

目録 No.	No.	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	20年観 察日数	19年観 察日数	前年比 増減
342	33	タカ	トビ																○						1	1	
354	34	タカ	ツミ																								
355	35	タカ	ハイタカ	○		○		○									○								4	2	+2
356	36	タカ	オオタカ	○																					1	1	
357	37	タカ	サシバ																								
383	38	カワセミ	カワセミ	○			○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○	○		15	15	
388	39	キツツキ	アリスイ																								
390	40	キツツキ	コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
397	41	キツツキ	アオゲラ																								
401	42	ハヤブサ	チョウゲンボウ			○												○							2	1	+1
407	43	ハヤブサ	ハヤブサ																								
412	44	サンショウクイ	サンショウクイ						8				1			2	4		1				2		6	7	▲1
418	45	カササギヒタキ	サンコウチョウ																								
420	46	モズ	モズ															○							1		+1
427	47	カラス	カケス																								
435	48	カラス	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
436	49	カラス	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
442	50	シジュウカラ	ヤマガラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
443	51	シジュウカラ	ヒガラ																								
445	52	シジュウカラ	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
452	53	ヒバリ	ヒバリ																							1	▲1
457	54	ツバメ	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
461	55	ツバメ	イワツバメ																					○	1		+1
463	56	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
464	57	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	16	+5
465	58	ウグイス	ヤブサメ																								
466	59	エナガ	エナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	18	+2
477	60	ムシクイ	メボソムシクイ																							1	▲1
479	61	ムシクイ	エゾムシクイ												3	2		1	2	5				1	6	5	+1
480	62	ムシクイ	センダイムシクイ	3	1	2	2	7	2	1				1	4	3		6	1	5	3	3	1	3	17	13	+4
485	63	メジロ	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21	
492	64	ヨシキリ	オオヨシキリ												1		1		1					2	4	2	+2
501	65	レンジャク	ヒレンジャク	11									3			5				4					4		+4
506	66	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	20	21	▲1
508	67	ムクドリ	コムクドリ																							1	▲1

目録 No.	No.	科名	種名	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	20年観 察日数	19年観 察日数	前年比 増減	
	514	68	ヒタキ	トラツグミ		1	1																		2		+2	
	518	69	ヒタキ	クロツグミ		1											1								2	9	▲7	
	520	70	ヒタキ	マミチャジナイ														1							1	5	▲4	
	521	71	ヒタキ	シロハラ	39	18	28	21	28	21	20	28	15	17	11	5	6	5	5	4	4	1	5	2	1	21	19	+2
	522	72	ヒタキ	アカハラ		1		4	16	3	6	7	2	6	2	1	3	10	14	2	4	2	2	3	5	19	19	
	525	73	ヒタキ	ツグミ	113	91	126	117	101	103	124	123	108	69	111	59	47	58	43	21	24	15	8	4	4	21	19	+2
	530	74	ヒタキ	コマドリ																						6	▲6	
	534	75	ヒタキ	コルリ																						2	▲2	
	536	76	ヒタキ	ルリビタキ	1																				1		+1	
	540	77	ヒタキ	ジョウビタキ	1																				1		+1	
	542	78	ヒタキ	ノビタキ	2																				1		+1	
	549	79	ヒタキ	イソヒヨドリ																								
	554	80	ヒタキ	コサメビタキ					1		1	1	1		1	1			1					1	8	5	+3	
	558	81	ヒタキ	キビタキ	1			2	2		1	3	2	4	4	6	5	10	7	11	6	6	5	4	17	20	▲3	
	561	82	ヒタキ	オオルリ				1	5		6		1			3		1		1	1	1			9	13	▲4	
	568	83	スズメ	ニュウナイスズメ	75	45	65	130	90	50	40	8	15	31	40			7	5						13	10	+3	
	569	84	スズメ	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21		
	573	85	セキレイ	キセキレイ																	○				1	1		
	574	86	セキレイ	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	19	19		
	575	87	セキレイ	セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	18	+1	
	580	88	セキレイ	ビンズイ					1				1			2		3		1					5	5		
	586	89	アトリ	アトリ	15	6	10	33	30	15	75	38	45	15	37	5	15	13	19	3				1	17	6	+11	
	587	90	アトリ	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	21		
	588	91	アトリ	マヒワ																								
	599	92	アトリ	ウソ																								
	600	93	アトリ	シメ	12	10	6	9	17	6	23	23	7	12	13	18	12	5	10	6	6	2	2	4	1	21	20	+1
	602	94	アトリ	イカル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	17	+4	
	610	95	ホオジロ	ホオジロ																						1	▲1	
	614	96	ホオジロ	ホアカ																								
	617	97	ホオジロ	カシラダカ																								
	623	98	ホオジロ	ノジコ													2		1						2		+2	
	624	99	ホオジロ	アオジ	18	5	13	9	5	11	4	8	8	16	6	6		2	5	1	2	1	3	1		19	15	+4
	625	100	ホオジロ	クロジ																								
種数計				20年	42	33	36	36	38	33	34	34	30	36	31	34	37	34	40	36	34	32	30	31	33	682	618	+64

別図① 2020年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属、ノビタキ属)

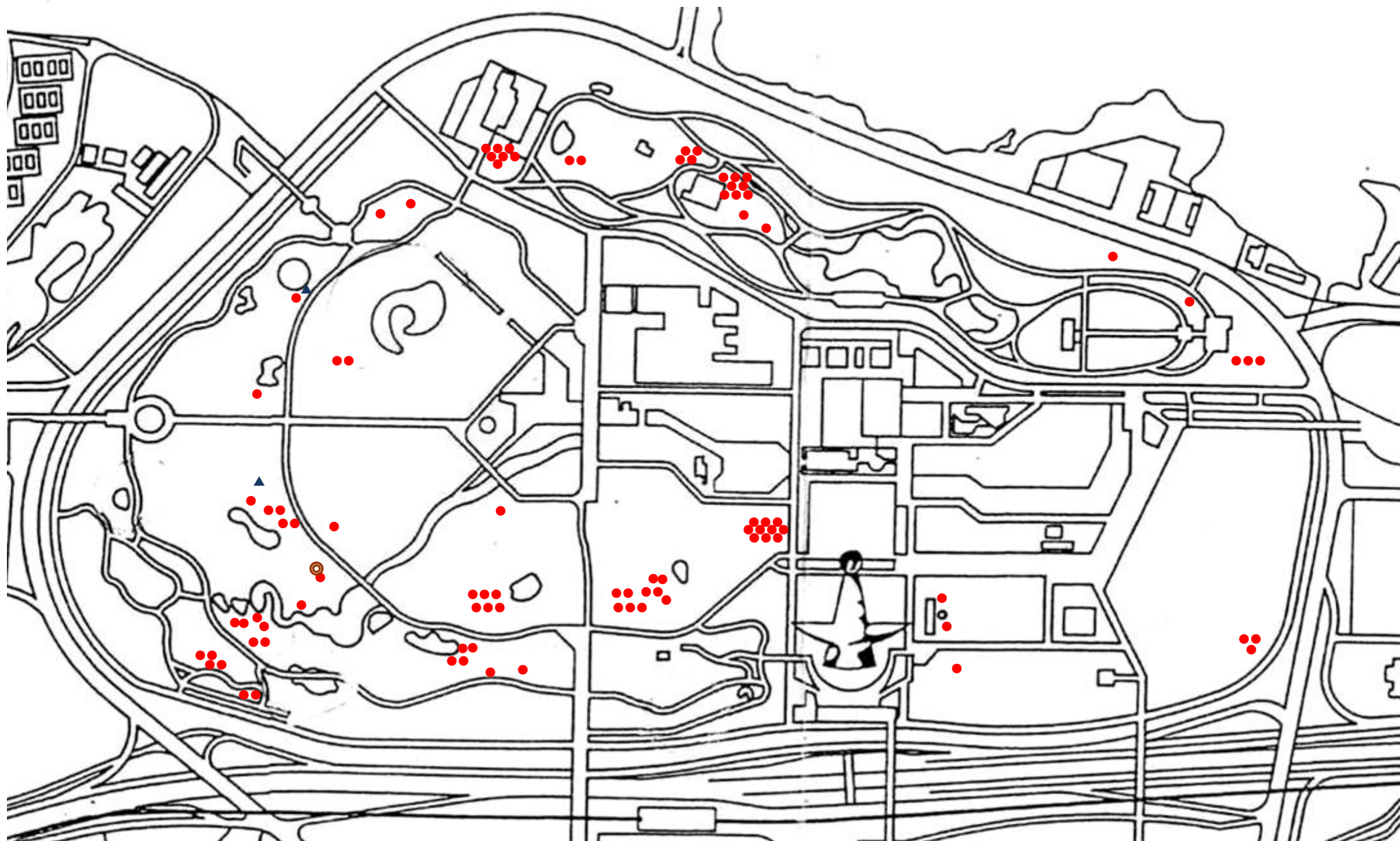
●キビタキ 79羽 ▲オオルリ 20羽 ◎コサメビタキ 8羽 ■ノビタキ 2羽



別図②

2020年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属

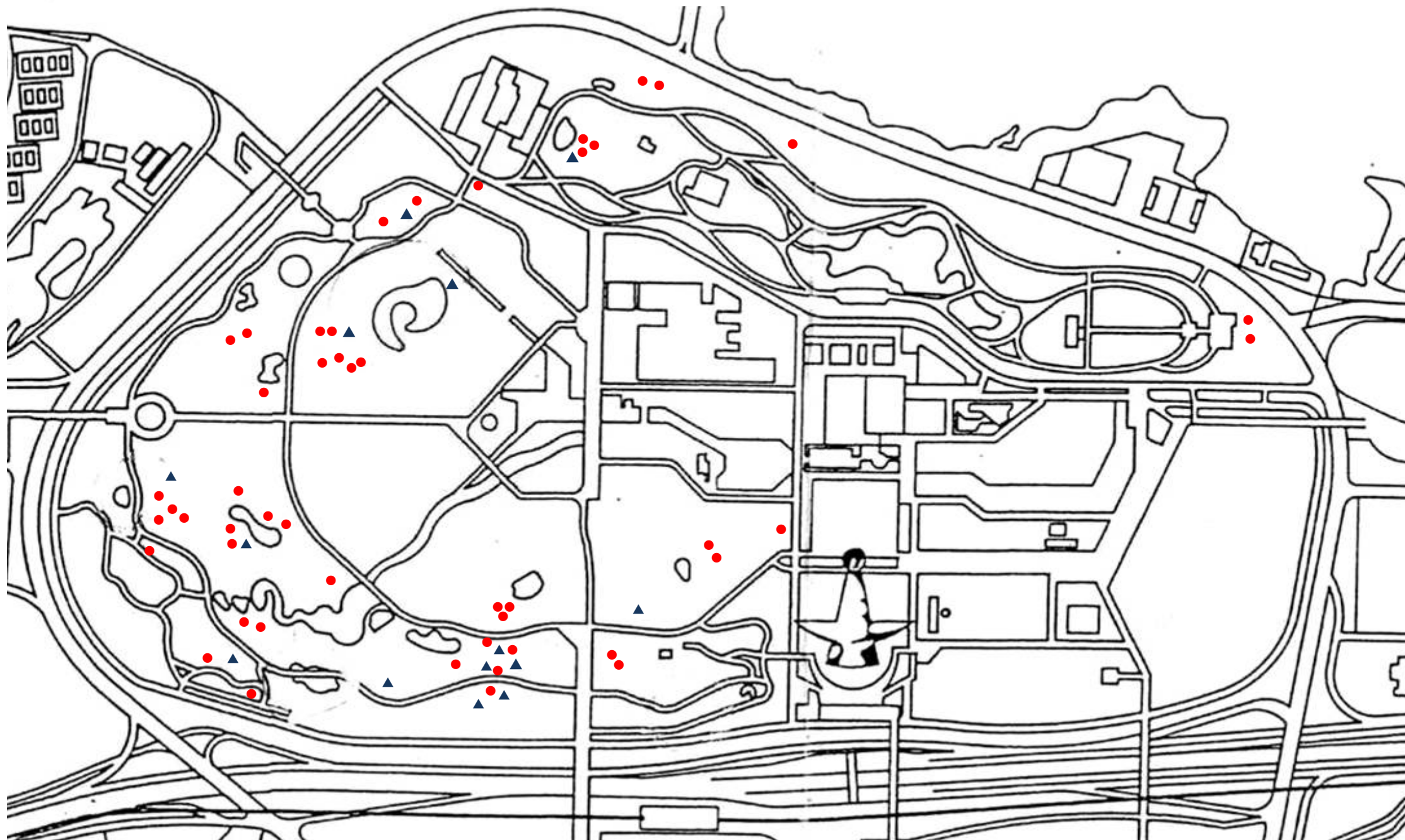
●アカハラ 93羽 ▲クロツグミ 2羽 ◎マミチャジナイ 1羽



別図③

2020年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ 48羽 ▲エゾムシクイ 14羽

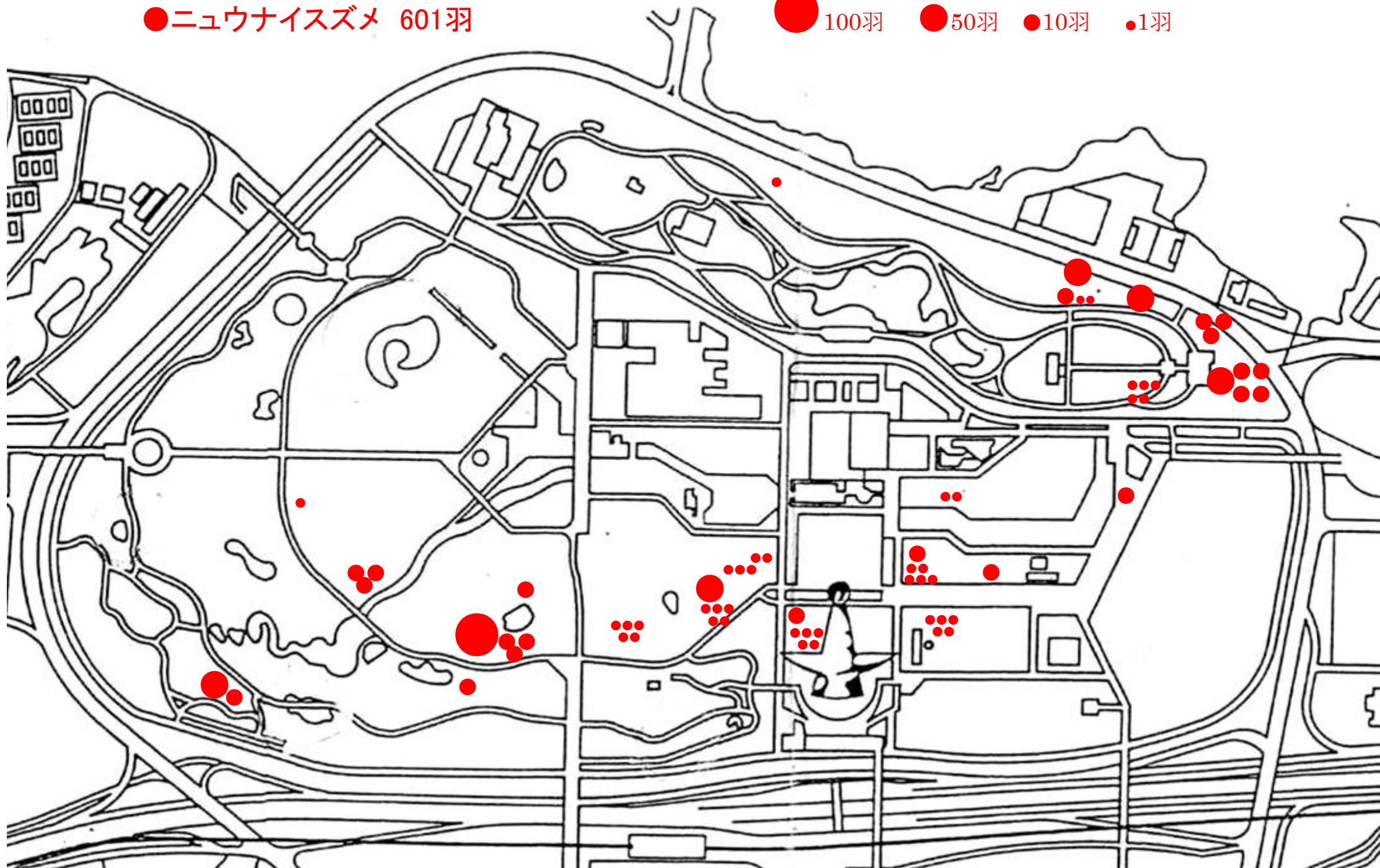


別図④

2020年春の渡り鳥 スズメ科

● ニュウナイスズメ 601羽

● 100羽 ● 50羽 ● 10羽 ● 1羽



別図⑤

2020年春の渡り鳥 その他の渡り鳥

●コチドリ 8羽

▲セイタカシギ 4羽

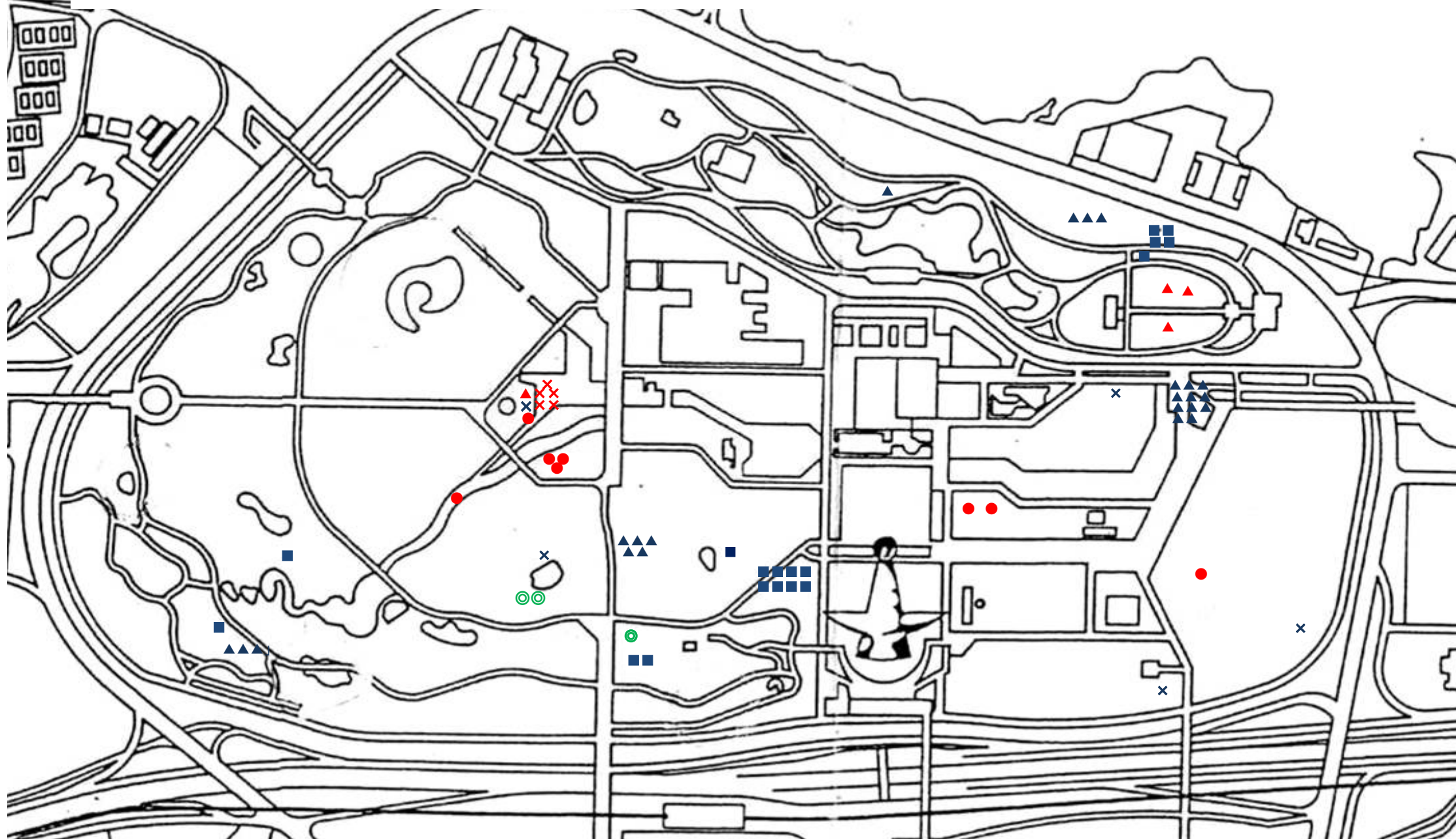
×タシギ5羽

■サンショウクイ 18羽

×オオヨシキリ 5羽

▲ヒレンジャク 23羽

◎ノジコ 3羽



別図⑥ 2019年春の渡り鳥 ヒタキ科(キビタキ属、オオルリ属、サメビタキ属)

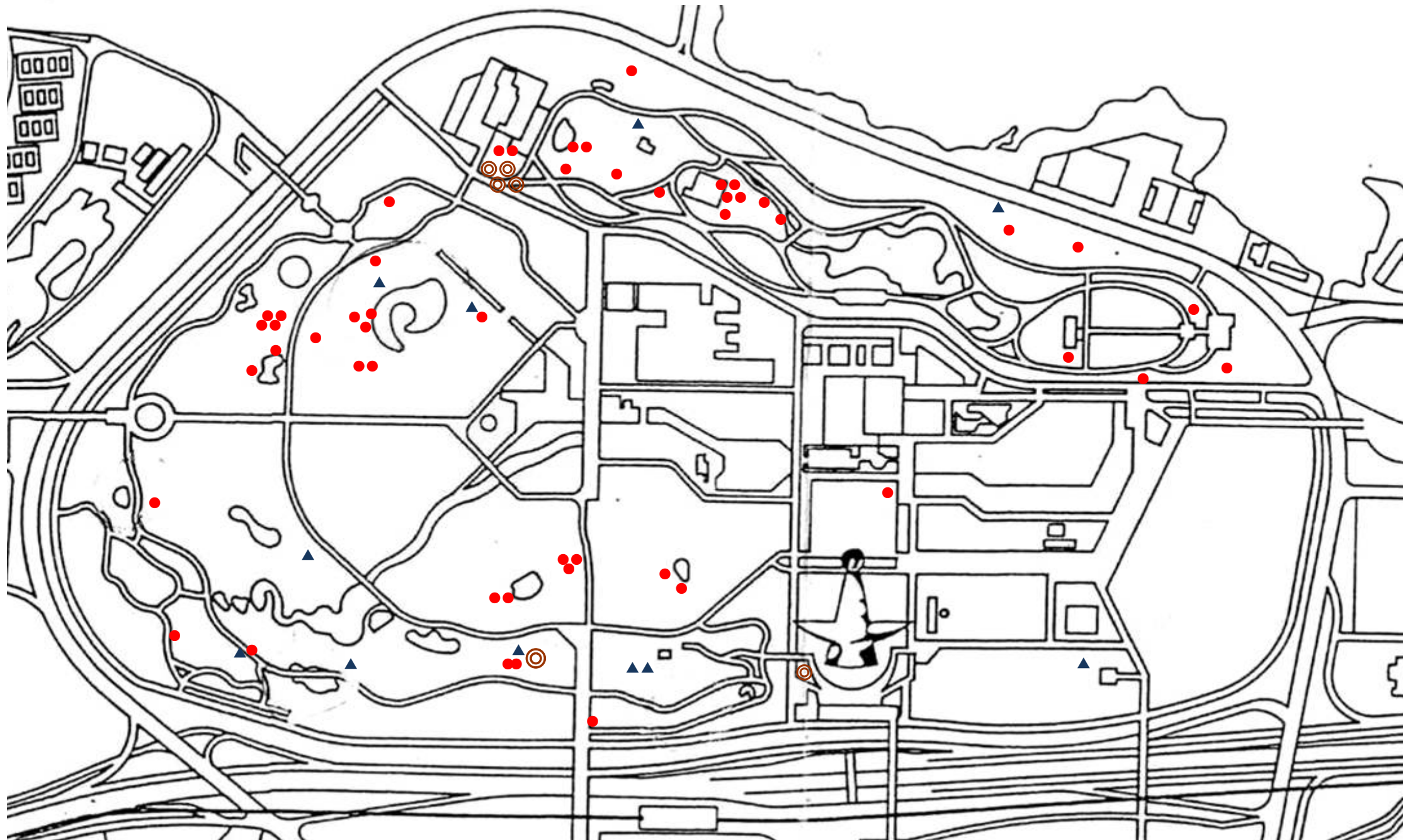
●キビタキ 142羽 ▲オオルリ 15羽 ◎コサメビタキ 8羽



別図⑦

2019年春の渡り鳥 ヒタキ科ツグミ属

●アカハラ 50羽 ▲クロツグミ 11羽 ◎マミチャジナイ 6羽



別図⑧

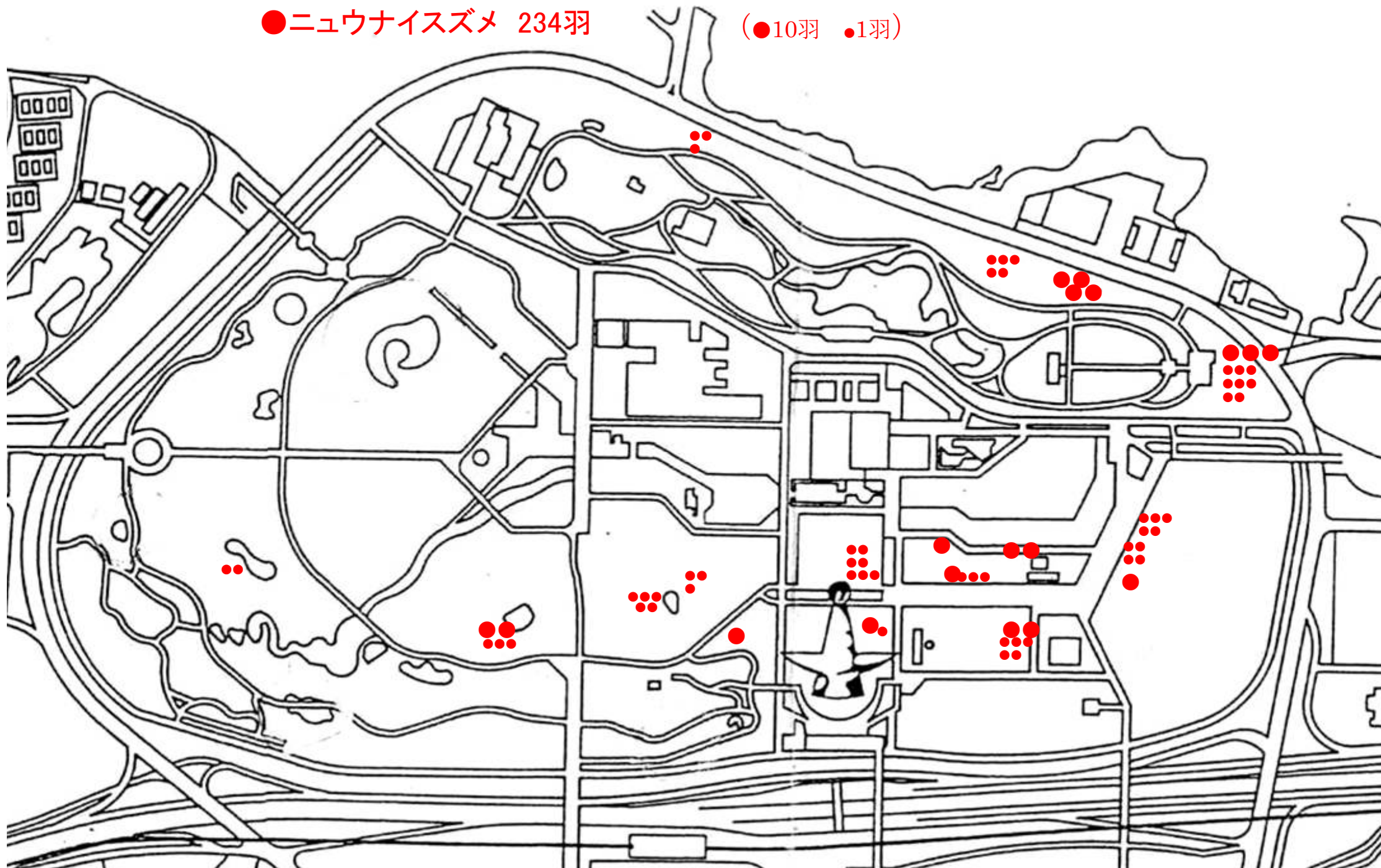
2019年春の渡り鳥 ムシクイ科

●センダイムシクイ 46羽 ▲エゾムシクイ 17羽 ◎メボソムシクイ 2羽



●ニューナイスズメ 234羽

(●10羽 ●1羽)



●コチドリ 2羽 ■サンショウクイ 13羽 ◎コムクドリ 1羽 ▲コマドリ 7羽 ◆コルリ 2羽 ×オオヨシキリ 2羽

